

市有地を一般競争入札で売却します

- | | |
|---|--|
| <p>1. 茂原市道表15番6
【地目】宅地（現況：宅地） 【地積】257.87㎡
【最低売却価格】7,740千円</p> <p>2. 茂原市鷲巣字南町712番17
【地目】宅地（現況：宅地） 【地積】250.00㎡
【最低売却価格】6,250千円</p> <p>3. 茂原市鷲巣字南町712番18
【地目】宅地（現況：宅地） 【地積】249.95㎡
【最低売却価格】6,250千円</p> | <p>4. 茂原市鷲巣字南町703番16
【地目】宅地（現況：宅地） 【地積】371.55㎡
【最低売却価格】7,540千円</p> <p>5. 茂原市六ツ野3917番1、2、3
【地目】雑種地（現況：雑種地） 【地積】1970.51㎡
【最低売却価格】13,608千円</p> <p>6. 茂原市早野字霜田2699番1
【地目】宅地（現況：宅地） 【地積】1358.09㎡
【最低売却価格】18,300千円</p> |
|---|--|

◆募集要領の配布・入札参加申込

3月16日(金)まで 8時30分～17時(土日・休日を除く)
※募集要領は市公式ウェブサイトからも閲覧可。

◆入開札日 3月23日(金)

募集要領の配布・お申し込み・お問い合わせは、管財課（4階） ☎(20)1520、FAX(20)1602へ。

市長が行く

非効率的な財政運営を 強いられるストレス



茂原市長 田中豊彦

10年前に市長に就任して以来、財政健全化に積極的に取り組んできました。また、一方で著しく老朽化していた教育施設の修繕や耐震化等も順調に整備してきました。ところが、前向きに進んでいるように見えたのもつかの間、今また新たな問題に直面しています。それは、少子化による学校の統廃合という新たな課題が生じてきていることです。

既存の校舎を使った統合ならさほど大きな財政上の問題にならないのですが、今ここで詳しく言うことは差し控えますが、突然降ってわいた状況により、新しく校舎を建てることを検討しなくてはならないように、それには「それ早く言ってよ」と言いたくなります。またまた多額の財政負担が生じることになり、統合することが分かってきたなら、大規模な修繕や耐震化事業などしなくても良かったのではないかとさえ思われたりします。少なくとも今現在の在校生にとっては良かったことと考えるしかありませんが、非常に非効率なことになってしまいました。

広域行政においても、新ごみ最終処分場の建設計画、消防署の建て替え計画、水道事業の本管更新事業、長生病院の負担金など、多額の財政負担が想定され、今の負担割合からすると、約60%が茂原市に重くのしかかっています。そのほかにも、新市民会館の建設や、諸施設の更新の事業が目白押しで、いくらお金があっても足りない状況が今後も続くと思われています。私はいつも職員に言っているのですが、今のままの財政状況だと金利が上がりますと新たな事業ができなほど茂原市の財政はきつくなってしまう。

日銀は、今はマイナス金利で民間銀行も金利を調整していますが、アメリカのFRBの政策金利が今後4回に渡って引き上げられることが示されると、日本の金利も近い将来上がっていくものと思われれます。今まで10年かかって約200億円もの負債を解消してきましたが、それでもまだ600億円もの負債が残っています。例えば今後1%の金利が上がると、タイムラグはあるにせよ6億円の金利が掛かってくるようになります。この金利を捻出することが、税収が減っていく中でかなりきつくなっていくのではないかと危惧しているわけです。

今後の茂原市の財政の舵取りをさらに慎重にしていかなければならない今、非効率な財政運営をせざるを得ないことにものすごくストレスを感じています。